

人間国宝

石黒宗麿のすべて



柿釉金彩鳥文鉢
1956-67年
個人蔵*



彩染柿文壺
1959-61年
東京国立近代美術館蔵



白地チヨク描露蔵文鉢
1949-50年
個人蔵**



白地鉄絵魚文扁壺
1941年頃
東京国立近代美術館蔵

陶に遊んだ。
あそ

陶を究めた。

平成28年

4月16日〔土〕↓6月19日〔日〕

主催 茨城県陶芸美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会
協賛 ライオン 清水建設 大日本印刷 損保ジャパン日本興亜 日本テレビ放送網 協力 日本通運
開館時間 午前9時30分から午後5時まで（入場は午後4時30分まで）
休館日 月曜日（ただし5月2日（月）は開館）
観覧料 一般720（570）円 高大生510（410）円 小中生260（210）円

※（ ）内は20名以上の団体料金。満70歳以上の友・障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方（ただし1人につき1人まで）は無料。
土曜日は高校生以下無料。 ※撮影・※竹本 登・※小杉 善和

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地〔笠間芸術の森公園内〕
Tel. 0296-70-0011 Fax. 0296-70-0012 URL <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

人間国宝

石黒宗麿

のすべて

最新の知見に基づく「鉄釉陶器」の人間国宝
石黒宗麿（1893—1968）の回顧展を開
催いたします。

富山県に生まれた宗麿は、25歳のときに「稲葉
天目」と称される中国宋代（12〜13世紀）の窯変
天目茶碗（現在、静嘉堂文庫美術館蔵・国宝）に
感銘を受け、作陶を志したと語っています。宗麿
は特定の師を持ちませんでしたが、昭和3年
（1928）に京都へ移り住んで以降、中国の唐・
宋時代の古陶磁を研究し、幅広い陶芸技法を体
得していきました。

昭和11年（1936）、京都市北部の八瀬に窯
を移して以後はここを生涯の作陶の場とし、独創
的な陶芸の世界を築き上げていきます。戦後は
チヨウ釉の新技法や、藍彩など低下度色釉を駆
使した、従来どこにもなかった作品を創出。自由
な気分と近代感覚に溢れた、斬新で品格ある作
品を生み出し続けました。

昭和30年（1955）に重要無形文化財保持
者（人間国宝）の制度が誕生すると、富本憲吉、
濱田庄司、荒川豊蔵と共に、陶芸界からの認定を
受けています。

宗麿の本格的な回顧展として約20年ぶりとな
る本展では、宗麿の陶芸作品124点と書画14点に
より、宗麿芸術の全貌を紹介します。また、宗麿
が研究した中国唐・宋時代の古陶磁も併せて展
示します。



1



2



3



4



5



6



7

1 千点文平茶碗 1940〜41年 射水市新湊博物館蔵 | 2 赤
絵鬼文水指 1966〜67年 個人蔵 | 3 黒釉葉文茶碗 1955
〜57年 個人蔵 | 4 彩塗芋版壺 1961年頃 石川県立美術
館蔵 | 5 藍彩壺 1943〜47年 個人蔵 | 6 鉄絵荒蕪文平
鉢 1967年頃 愛知県陶磁美術館蔵 | 7 八瀬窯窓図 1942
年頃 個人蔵（後期展示）
撮影：竹本春二 2,3,5 小林善和 7

※書画作品は、会期中展示替えをします。

〔前期〕4月16日（土）— 5月18日（水）

〔後期〕5月19日（木）— 6月19日（日）



関連行事

講演会「模倣と創造 石黒宗麿の仕事について」

平成28年4月23日（土）13:30〜15:00

当館1階多目的ホール（聴講無料）

講師 | 小野公久氏（陶芸ジャーナリスト）

定員 | 120名（先着順）

講演会「石黒宗麿の造形美」

平成28年5月14日（土）13:30〜15:00

当館1階多目的ホール（聴講無料）

講師 | 金子賢治（当館館長）

定員 | 120名（先着順）

ギャラリートーク

平成28年5月7日（土）・6月11日（土）

各13:30〜

※企画展チケットが必要です。

ごいっしょに

「鴨居玲 死を見つめる男」

平成28年4月2日（土）〜5月29日（日）

笠間日動美術館

Tel 0296-72-2160

「あした天気になーあれ」

—雨・晴・風の美術—

平成28年2月20日（土）〜5月29日（日）

茨城県近代美術館

Tel 029-243-5111

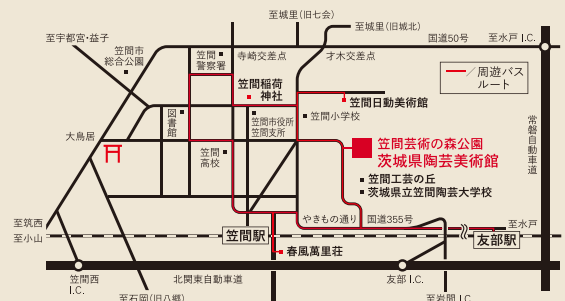
交通案内

電車 | JR常磐線で上野〜友部駅（特急70分）
友部駅から「かさま観光周遊バス」（料金100
円、定員36名）で20分 友部駅でJR水戸線に
乗り換え笠間駅（9分）下車 笠間駅からタク
シーで5分

車 | 北関東自動車道、友部インターから10分、
笠間西インターから15分 常磐自動車道、岩
間インターから25分、水戸インターから30分

駐車場 | 笠間芸術の森公園北駐車場（300台）
をご利用下さい。

※陶炎祭（4月29日〜5月5日）期間中は、駐車場
が有料になりますが、展覧会をご覧頂く方には
美術館受付で返金いたします。



本展の美術普及事業に
は宝くじの収益金の一
部が使われています。

割引券

この券をお持ち頂くと、展覧会
を割引料金（団体料金と
同額）にてご覧
頂けます。